

つながる すみだ人

私の好きな すみだ

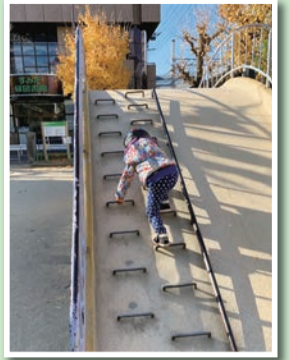
今月の1枚

「遊びの時間」

【撮影】牧野 あゆみさん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。

【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



鈴木孝子さん(本所在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人をつないでいきます。第41回は、両国のダンススクールで講師を務める傍ら、地域の方々にもダンスを教える活動をしている鈴木孝子さんです。

Q. すみだでどのような活動をしていますか？

ソシアルダンス(社交ダンス)と競技ダンスの講師、ダンサーとして活動しながら、区内の児童館で子どもたちにダンスを教えたり、「両国にぎわい祭り」で地域の方などと一緒にダンスパレードをしたりしています。現在は新型コロナウイルス感染症の影響でいずれも実施が難しい状況ですが、コロナ禍前、児童館では1年間のコースで小学生にソシアルダンスを教え、クリスマスには、その成果を発表会で披露していました。

参加者はダンス未経験の子ばかりでしたが、吸収が早く、その成長には舌を巻きました。ダンスパレードでは、プロダンサーのほか、小・中学生から大人まで幅広い世代の方が踊ります。パレードの最後には「マンボタイム」を設けます。即興のステップ講習会をやって、参加者のみならず、観客の皆さんも一緒に踊るんです。このひとときは祭りの名前のおとりに、本当に賑やかで一体感を感じますね。

Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

子どもたちにダンスの魅力を伝えて、ダンスの裾野を広げたいという想いはもちろんですが、ダンスを通してコミュニケーションスキルや精神面で成長してもらいたいという想いから始めました。私の教え方はシンプルで「1 説明してやってみせる」「2 チャレンジしてもらおう」「3 それに対して評価する」の三本柱です。教えていて難しいと感じたのは、2つ目の段階で隣の人と同じように動いてしまうこと。ソシアルダンスでは目の前のパートナーとしっかり向き合うことが大切なので、それを伝えるのにいろいろな例え話をするなど工夫しま

した。また、ダンスは踊るだけでなく、思いやりがとても大切です。上手く踊れない子を、周りの子が自然にサポートしているのを見たときは、大人でも忘れがちなことをサラリとやってのける子どもたちのしなやかさに、思わず笑顔になりました。

それから、私自身、ダンスをしているときはダンスに集中し、たとえ辛いことがあってもリフレッシュして、前に進むことができました。子どもたちにも没頭できることを見つけ、強くしなやかに生きる術を身に付けてほしいと思っています。ダンスがそのきっかけになれば嬉しいです。

Q. 鈴木さんは、すみだのどんなところが好きですか？

昔から変わらない相撲や花火、誰もが知る歴史上の人物にまつわる場所がありつつも、スカイツリーなどの新しいものが共存しているところが好きです。自宅からスカイツリーが見えるのですが、毎日変わるライティングを楽しんでいます。

現在はダンスパレードなどの機会が見つかられず残念ですが、様子を見ながら若い世代に向けたレッスンを開いていきたいと考えています。そして、祭りのダンスパレードでの一体感ある雰囲気や再び味わえる日を待ち望んでいます。



◀プロダンサーのパレードの後は、観客から拍手喝采です。中央でポーズを決める鈴木さん。



▶参加者と観客がひとつになる「マンボタイム」。鈴木さんがステージでステップの指導にあたります。

次回登場して下さるのは・・・

「キックボクシングで墨田区を元気に」という想いで、キックボクシングジムを運営している鈴木秀明さんです。
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



夢

持続可能な「すみだ」の未来へつながる予算

墨田区長

山本 亨

本紙1面でご紹介した令和4年度予算案は、「新しいつながり、新しい暮らしを創出する予算 持続可能な「すみだ」の未来へ」と位置付けました。基本計画の後期4年間の初年度となることや、感染症の拡大による影響など、社会の変化を的確に捉え、すみだらしいともに支え合うまちづくり「すみだ型共生社会」を推進し、「すみだ」の未来を見据えた区政運営を行っていきます。また、昨年5月に国から「SDGs未来都市」に選定されたことから、様々な区政課題をSDGsの目線で統合的に解決するための取組を進めます。また、行政が抱える課題に対応するため、DX(デジタルトランスフォーメーション)を強力に推進することで、区民目線で最適な行政サービスのデジタル化をめざし、区民生活の向上を図ります。一方、

進展する少子高齢化への対応策として、課題である学童クラブの待機児童解消など、子育てと仕事を両立できる環境の整備や、これまでの自然災害を教訓とした災害対策など、誰もが住み慣れた地域で安心して、いきいきと暮らし続けられるまちづくりを着実に進めていきます。

さて、本区の文花地区には情報経営イノベーション専門職大学(以下、iU)と千葉大学墨田サテライトキャンパスが開学・開設され、区と大学の連携が本格的にスタートしています。千葉大学とは、環境・教育・健康など、様々な分野での連携が始まり、iUには、プログラミング教育や動画制作など、大学の知見を活かした分野でご協力をいただきました。さらに今年は、iUの教育・研究・社会連携施設で

ある「すみだメディアラボ」が開設されます。この施設は最先端のICT研究や、オンライン教育コンテンツの開発・発信の拠点となる予定です。学生の皆さんには、ぜひ、本区を学びのフィールドとして活用し、地域の課題解決や活性化につなげてほしいと期待しています。今後も、各大学の資源を積極的に活用しながら、大学との連携を一層進めていきます。



令和4年度予算案記者発表

